

令和8年度採用

岐阜県公立学校教員採用選考試験 第1次選考試験

教科専門

中学校 音楽

受験番号	
------	--

試験時間

10時30分～11時40分（70分）

**【注意事項】**

- 1 放送で指示があるまで、この問題用紙に手を触れないでください。
- 2 問題の印刷が不鮮明な場合には挙手をして、試験監督官が来るのを待ってください。
- 3 終了後、答案用紙（マークシート）のみ回収します。この問題用紙は各自持ち帰ってください。

1 ギターについて、(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) ギターの音や音色について、説明文中の [ A ] ～ [ C ] に当てはまる語句の組合せを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は11。

弦の響きは、弾く位置によって異なります。弦の中心が最も柔らかい音になり、中心から [ A ] 側になるほど硬い音になります。

演奏する前には必ずチューニングをしましょう。

チューナーを用いると、素早く正確にチューニングをすることができます。一弦ずつ [ B ] を鳴らして音名を確認し、デジタル表記のメーター針が中央を示すように [ C ] を調整します。

	A	B	C
①	ブリッジ	開放弦	ナット
②	フィンガーボード	コード	ナット
③	ブリッジ	開放弦	ペグ
④	ブリッジ	コード	ペグ
⑤	フィンガーボード	フレット	ナット

(2) 「セーハ」の説明を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は12。

- ① コードの構成音を一度に弾かないで、一音ずつ分散させて弾く。
- ② 弦を弾いた後、指を隣の弦によりかけて止める。
- ③ 弦を弾いた後に指が隣の弦に触れない。
- ④ 左手でコードを押さえ、右手で何本かの弦を同時にかき鳴らす。
- ⑤ 2本以上の弦を左手の人さし指で同時に押さえる。

- (3) 次の楽譜中の [ア] に当てはまるコードネームとダイアグラムの組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

① D

③ C

⑤ Em

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

② D

④ C

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

2 次の楽譜は、共通教材の「早春賦」である。(1)～(3)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

(1) この楽曲の作詞者と作曲者の組合せを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は14。

	作詞者	作曲者
①	吉丸一昌	中田 章
②	土井晩翠	滝廉太郎
③	江間章子	中田喜直
④	江間章子	團伊玖磨
⑤	林 古溪	成田為三

(2) この楽曲の歌詞にある「角ぐむ」の意味を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は15。

- ① まだその時ではないと
- ② 知らないでいたものを
- ③ あいにく
- ④ せかされる
- ⑤ 芽が出始める

(3) この楽曲の形式を，次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は16。

- ① 一部形式
- ② 二部形式
- ③ 三部形式
- ④ ロンド形式
- ⑤ ソナタ形式

3 世界の諸民族の音楽について、(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の説明文に該当するものを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

モンゴルに伝わる民謡の一つです。長い間、遊牧民の婚礼や祝い事、祭りの際に歌われてきました。拍のない音楽で、コブシのような細かい節回しが特徴です。

- ① ケチャ
- ② オルティンドー
- ③ カッワーリー
- ④ アリラン
- ⑤ アーヴァーズ

(2) 次の説明文に該当するものを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

西アジアを起源とするダブル・リードの木管楽器です。トルコではダウルとともに、「メヘテルハーネ」と呼ばれる軍楽隊の主役を担いました。

- ① バグパイプ
- ② ナイ
- ③ ケーナ
- ④ ズルナ
- ⑤ タンソ

4 能について、(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 能について、説明文中の  に当てはまる語句を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

能は、音楽、舞踊、演劇などの要素をもった日本の伝統的な歌舞劇です。室町時代の初め頃、足利義満の保護のもと  によって基本的な形が整えられ、室町時代の末頃にほぼ現在のような様式が完成しました。

- ① 観阿弥、世阿弥親子
- ② 出雲のお国
- ③ 八橋検校
- ④ 竹本義太夫
- ⑤ 近松門左衛門

(2) 能の演者と演奏者の説明として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は20。

- ① シテは、原則として現実に生きている男性以外は、「面」をかけて演じる。
- ② 能の中で、狂言の役者が演じる役のことを「後見」という。
- ③ ワキは、僧侶や武士など、現実に生きている男性にふんする。
- ④ 地謡は、シテの演技に合わせて、シテにまつわる物語やその心情、情景を描写した謡を謡う。
- ⑤ 能の囃子は、笛（能管）、小鼓、大鼓、太鼓で編成され、この4つの楽器を合わせて「四拍子」ともいう。

- (3) 次の譜は、「羽衣」の一部について謡い方のイメージを表したものである。この譜で表された部分の詞章の意味や謡い方として誤っているものを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

※ 出典：教育芸術社「MOUSA ①」

- ① 詞章にある「東遊」とは、雅楽として伝承されている宮中や神社の儀式で行われる歌舞のことである。
- ② カタカナで書かれている母音は「生み字（産み字）」と呼ばれる。音程が変わる際などに生み字を意識して謡う。
- ③ 旋律よりも息の扱い方を重視した謡で、息を強く押し出すように謡う。
- ④ 「中音」と呼ばれる音を中心として音程の枠組みが決められている。「上音」は中音の完全4度上の音である。
- ⑤ 「上音のウキ」「中音のウキ」は、上音及び中音のおよそ長2度上の音である。

5 西洋音楽史について、(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次の楽譜のピアノ曲の作曲者を、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は22。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

※ 出典：音楽之友社「改訂版 高校生の音楽2」

- ① フォーレ
- ② サティ
- ③ ドビュッシー
- ④ ラヴェル
- ⑤ サン＝サーンス

- (2) 文章中の  ～  に当てはまる語句の組合せを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

※ 出典：教育芸術社「高校生の音楽1」

	A	B	C	D
①	イタリア	プッチーニ	フランス	オペレッタ
②	イタリア	プッチーニ	ドイツ	オペラ・セリア
③	ドイツ	ヴァーグナー	イタリア	オペレッタ
④	ドイツ	ヴァーグナー	イタリア	オペラ・セリア
⑤	イタリア	ヴァーグナー	ドイツ	ミュージカル

- (3) 次の楽譜は、サン＝サーンス作曲「死の舞踏」の、弦楽器パートの一部である。楽譜中の  の「col legno」の説明を、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

- ① 弦を指で軽くおさえ、弓でこする。
- ② 弦を右指ではじく。
- ③ 弓の背の木部で弦を叩くように奏する。
- ④ 弓の先端で奏する。
- ⑤ 弓の手元で奏する。

6 楽典について、(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次の総譜は、チャイコフスキー作曲「交響曲第6番『悲愴』」より第2楽章の冒頭部分である。楽譜中の「ア」の箇所について、第2クラリネットと第1ファゴットの実音の音程を、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は25。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

① 完全4度    ② 完全8度    ③ 長10度    ④ 短3度    ⑤ 長6度

(2) 次の旋律の調を、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

- ① ホ短調
- ② 嬰ハ短調
- ③ ハ長調
- ④ ホ長調
- ⑤ イ長調

(3) 音楽記号・用語等の奏法を示したものととして誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。

- ① 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------

 奏法  
→ 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------
- ② 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------

 奏法  
→ 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------
- ③ 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------

 奏法  
→ 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------
- ④ 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------

 奏法  
→ 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------
- ⑤ 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------

 奏法  
→ 

著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
---------------------------

7 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）について、(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次の文章中の下線部A～Eのうち、「第2章 各教科 第5節 音楽 第1 目標」の記載内容として誤っているものを一つ選べ。解答番号は28。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、A生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1) B 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、C 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや、D 音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、E 感性を高め、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

- (2) 次の文章は、「第2章 各教科 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕 2 内容」の一部である。文章中の  ～  に当てはまる語句の組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は29。

A 表現	
(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
ア	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <input type="text" value="A"/> を創意工夫すること。
イ	次の(ア)及び(イ)について理解すること。
(ア)	曲想と音楽の構造や <input type="text" value="B"/> との関わり
(イ)	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり
ウ	次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。
(ア)	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な <input type="text" value="C"/> などの技能
(イ)	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら <input type="text" value="D"/> 歌う技能

	A	B	C	D
①	歌唱表現	歌詞、文化的・歴史的背景	呼吸及び発音の仕方	他者と合わせて
②	自己のイメージをもって歌唱表現	歌詞の内容及び曲の背景	発声、言葉の発音、身体の使い方	声を合わせて
③	自己のイメージをもって歌唱表現	歌詞の内容	呼吸及び発音の仕方	声を合わせて
④	曲にふさわしい歌唱表現	歌詞の内容及び曲の背景	発声、言葉の発音、身体の使い方	他者と合わせて
⑤	曲にふさわしい歌唱表現	歌詞、文化的・歴史的背景	呼吸及び発音の仕方	声を合わせて

- (3) 次の文章中の下線部A～Eのうち、「第2章 各教科 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (5) (7)」の記載内容として誤りはいくつあるか。下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は30。

(5) 読譜の指導に当たっては、小学校における学習を踏まえ、井やbの調号としての意味を理解させるとともに、A 1学年間を通じて、B 2井, 2 b程度をもった調号の楽譜の視唱や視奏に慣れさせるようにすること。

(7) 各学年の「A表現」の(3)の創作の指導に当たっては、C特定の作曲法などに基づく音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験を重視すること。その際、D理論に偏らないようにするとともに、E五線譜に作品を記録する方法を工夫させること。

- ① 1
- ② 2
- ③ 3
- ④ 4
- ⑤ 5